

第2回 大阪科学賞 昭和59年度(1984年度)

受賞者氏名： 佐川 真人(さがわ まさと)

所属(受賞時)： 住友特殊金属株式会社 技術開発部 主任研究員

業績： Nd - Fe - B新磁石の発明

受賞者は住友特殊金属においてNd-Fe-B磁石を発明し、1982年8月Nd-Fe-B磁石の特許出願(世界で最初)、1983年11月Nd-Fe-B磁石の学術発表、その翌年本大阪科学賞を受賞した。Nd-Fe-B磁石はその後大きく発展した。ハードディスク装置等の電子機器、MRI、ハイブリッドカーのモータ、放射光を発生するための装置・アンデューレータ等において、Nd-Fe-B磁石は不可欠であり、人々の社会生活の重要な部分を占めるに至っている。

受賞者は、この磁石の発明の後、その工業化にも貢献し、その生産が軌道に乗った1988年に住友特殊金属を退職し、インターメタリックス㈱を設立した。インターメタリックス㈱では引き続き、Nd-Fe-B磁石の特性改良と工業技術の開発業務に従事し、世界最高レベルの高特性Nd-Fe-B磁石を工業的に生産できる技術として、RIP(Rubber Isostatic Pressing)技術の発明と工業化に成功した。